

## 病院船の建造推進に関する要請書

先の東日本大震災では、交通・通信網、医療施設等の社会インフラが完全に破壊されました。

こうした中で被災地では多くの傷病者が迅速な治療を受けることがままならない状態が続いています。その背景には①病院施設も損傷を受けたこと。②損傷が軽微な病院でも対応できる病床数が絶対的に少ないこと。③医師や看護師も被災者であり、また交通網の遮断等のため即時に救急活動に従事できる人数が限られていたこと等の理由があります。今後このような事態に迅速かつ適切に対処するには、最先端の医療設備・機器を搭載した病院船を建造し、海上からの医療支援が行える体制を整えることが必要であることは諸外国の例を見ても明らかです。

従って我が国においても政府の主導のもと病院船を建造・保有し緊急時に医療サービスを可及的速やかに提供できる体制を整備する必要があると考え、次の通り要請いたします。

- 一、 政府部内に、「病院船機能を有する多目的船舶」を担当する部門を設置し、その建造及び運用等について速やかに検討を開始すること。
- 一、 当該船舶建造に係る調査費を平成二十三年度二次補正予算案に計上すること。

平成二十三年五月十九日

病院船建造推進、超党派議員連盟会長 衛藤 征士郎

(顧問) 西岡武夫 山東昭子

(会長代理) 高木義明 井上義久

(副会長) 原口一博 樽床伸二 吉田公一

塩崎恭久 村田吉隆 鴨下一郎

赤松正雄 林 芳正 木庭健太郎

(幹事長) 竹本直一 (幹事長代理) 渡辺 周

(事務局長) 平沢勝栄 (事務局次長) 遠山清彦

内閣官房長官 枝野 幸男 殿